

# 造園連ながの瓦版

日本造園組合連合会長野県支部  
 広報委員会  
 <〒386-0027長野県上田市常盤城4丁目4-23>

## 「下諏訪宿場街道資料館」中庭改修

諏訪分会 今井清典

下諏訪町は甲州街道と中山道合流の地。

宿場町の歴史を残す「宿場街道資料館」の中庭改修工事を諏訪分会が設計施工を請け負うことになり大変有意義でありました。

組合員の協力で和風庭園を完成させる、それは技術の集大成であると取り組みました。

古来より伝わる道具類の活用、技術の伝承、大型重機搬入不可能な現場だけに良い体験ができたと思います。



見る位置を変えると世界が変わる  
 庭園の奥行きを演出し、季節ごとの  
 変化を楽しむ。自然の素材を活か  
 したデザインが、訪れる人々の心を  
 惹きつける。



水原町(むすいしき)  
 水原町は、江戸時代から宿場町として  
 栄え、その歴史を伝えるために、  
 石畳の道が敷かれています。



赤の古道  
 赤い土は、昔から使われてきた  
 土で、その色合いが、歴史を  
 感じさせる。石畳の道が、  
 訪れる人々の心を惹きつける。



水原の町  
 水原町は、江戸時代から宿場町として  
 栄え、その歴史を伝えるために、  
 石畳の道が敷かれています。



緑から見た道  
 緑豊かな環境の中で、石畳の道が  
 敷かれています。



歴史の道  
 歴史ある道で、石畳の道が敷か  
 れています。

### 宿場街道資料館

〒386-0027 長野県上田市常盤城4丁目4-23  
 電話 026-233-1111

### 設計・制作 下諏訪町

〒386-0027 長野県上田市常盤城4丁目4-23

2019/07/15 18:09  
 信州下諏訪

造園材料については地元の材料にこだわり情報集めに時間を費やしました。

街道をイメージした古道(こどう)に使った石材は八ヶ岳の裾野より産出した「鉄分の多い」「丸面の取れた」山石で「サビの利いた」趣のある材料でした。



この石材に出会えたことが「山道の古道」を表現しようと園路が決まり庭のデザインが大きく前進した材料になりました。

中庭中央部に「登り調子」の「山道古道」を地割しました。

その脇を州浜を模した「流れ」を設け石材は高瀬川系の玉石と砥川砂利、大玉黒曜石を利用、高低差は20センチ程とわずかな流れですが水流による動きを加えました

「留め石組工事」「園路工事」「流れ州浜工事」「植栽工事」それぞれ責任者を立て設計図の確認と検討作業の繰り返しにより意匠のバランスを図りました。園路の部分では通用門倉前庭に初の施工体験である「氷砕敷(ひさいしき)」を諏訪特産大判厚物鉄平石(既存材料で試みました。今までにない表現ができたと思います。



個性や感性の出る我々の職種であり、形に表すことは大変なことでしたが問題が発生したときは「少し離れて」「別の角度から」「外部的視野に立って」を合い言葉にこの一ヵ月を通しました。技・美意識・景点・収まりを識する。

これらを瞬時に判断できるかがいかに大切か実感した。仲間3人で観て歩いた「桃山時代から室町時代の庭園」二度三度と時間を作っては京都に出向いたあの時がこの度の庭園工事に成果となって表現できたと思います。

百数十人工を要した和風庭園完成にあたり統括責任者としての報告とさせていただきます。(起工2019年5月16日・竣工2019年6月20日)